学校番号	３０１

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 改訂版「倫理」　（第一学習社）						
副教材等	最新図説倫理　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

倫理は本来「暗記物」ではありません。授業前に教科書を読んで基本的な事柄の理解や難しいところを調べ、自分のイマジネーションを高めて理解に努力してみることも重要です。その際、副教材も参考書として活用してください。授業内容に関連する図書は学びを深めるために必要です。そのために学校や公営の図書館を活用してください。身近な問題についてはスマートフォンも活用できます。できれば、３年次に備えてセンター試験の問題等にもチャレンジしてください。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。また、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	先哲の思想を手がかりとして現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事項から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・ワークシート ・観察等	・定期考査 ・ワークシート ・観察等	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	青年期の課題と自己形成	よく生きることを求めて 青年期の課題 自己の探求 現代の青年期	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:青年期の課題を通して人間としての生き方に関する関心を高めようとしている。 b:青年期の課題を考察し、適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用している。 d:青年期の意義と課題を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前半 1学期後半	人間としての自覚	ギリシャの思想	○		○		a:先哲の思想や、宗教を通した死生観を学び、人間に関する関心を高めようとしている。 b:人間存在と社会との関わりについて考察し、適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用している。 d:先哲の思想や宗教についての基本的事柄を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		キリスト教	○			○		
		イスラーム	○			○		
		仏教		○		○		
		中国の思想		○	○			
2学期前半 2学期後半	現代に生きる人間の倫理	人間の尊厳	○		○		a:人間存在や社会に対する先哲の思想を学び、社会を構成する個人としての意識を高めようとしている。 b: 人間存在と社会との関わりについて考察し、適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用している。 d:先哲の基本的考えを通して倫理的課題を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		近代の科学革命と自然観			○	○		
		自由で平等な社会実現		○		○		
		人間性の回復と主体性の確立	○			○		
		現代の思想と人間像	○		○			
		生命への畏敬と社会参加		○	○			
	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の風土と伝統	○			○	a:日本の風土・伝統や、外来文化の受容の仕方を学び、国際社会を生きる日本人としての自覚を高めようとしている。 b:文化や思想の日本的在り方について考察し、適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用する。 d: 国際社会を生きる日本人の思想的課題を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		外来思想の受容		○	○			
		町人意識のめざめと庶民思想	○			○		
3学期		西洋思想との出会い		○	○	○		
	現代の諸課題と倫理	生命の問題と倫理課題	○			○	a:現代の諸問題と倫理課題について、主体的に理解しようとしている。 b:社会問題を多面的に考察し、適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用する。 d:現代の倫理課題の基本的な事柄を理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		環境の問題と倫理課題		○	○			
		家族・地域社会と倫理課題	○		○			
		情報社会と倫理課題		○	○			
		宗教・文化と倫理課題	○			○		
		国際平和と人類の福祉	○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。